

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第 2 号

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校

令和2年5月1日（金）

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

『ほんの少しの幸せ』

校長 小熊 誠

新年度も始まり、1ヶ月が過ぎました。本来であれば、学校は、生徒たちの元気な声と明るい笑顔で満ちあふれ、活気に満ちた日々を送っているはずでした。しかし、残念ながらコロナウイルスの影響で休校が続いています。生徒たちの姿のない学校は寂しいです。少しでも早い学校の再開を願っています。保護者・地域の皆様におかれましてもお体には十分御留意ください。

この当たり前ではない状況から抜け出すためには、1番は皆様方の心と体の健康です。そしてもう1つ大切なことが、お互いを思いやる心遣いです。自分をそして大切な方々を護っていくには、この連休が大きな山場だと言われています。どうか皆様、不要不急の外出は避け、手洗い・うがいを欠かさず、規則正しい生活をお願いいたします。

さて、今回はそんな現状のなかで私が幸せを感じた話を2つ載せさせていただきます。まず1つ目です。それは、大原中のいたるところに飾ってある絵画を中心とした美術品です。今、私は毎日大原中の内外を探検しています。そこで、生徒たちの作品はもちろん、地域の方々から贈られた心のこもった作品の数々と出会うことができました。その数々の作品から大原中に対する深い愛情と熱い思いに幸せを感じるとともに責任の重さを実感しました。是非皆様、大原中に来校の際にはこれらの作品(いたるところにあります。2桁以上あります)を探し、感じてみてください。ちなみ右に1番大きな作品を載せておきます。



2つ目です。それは私の家での話です。私の家族は、私とカミさん、そして4月から中学1年になった息子の3人家族です。カミさんは、市内ではありませんが私と同業者です。先日息子が、私たちに「コロナウイルスで1つだけいいことがあった。それは、今までこんなに家族3人で一緒にいられたことなかったから」と話しかけてきました。私もカミさんも言葉を返せませんでした。震災の時も台風の時も一緒に居てあげられず、小学2年生からは1人でカギを閉めて登校し、誰も居ない家に1人でカギを開けて帰り留守番をしていた息子。息子の思いに目頭が熱くなりました。今、毎日3人でトランプをやっています。私はなかなか勝てませんが、このひとときに幸せを感じています。

どうぞ皆様、こんな時だからこそ見つけられる、感じられる幸せを見つけてみてください。もしかしたらそれがいまの現状から少しでも早く抜け出すための1番の近道かもしれません。

最後に、別添で平成2年度の学校経営方針とランドデザインを示させていただきました。本年度は、守る・磨く・輝く をキーワードに、キャッチフレーズとして 希望の登校 笑顔の活動 満足の下校 を掲げ、大原中の新しい未来を切り拓いていこうと考えています。どうぞ皆様、今まで同様の御理解と御協力、そして温かい御支援をよろしくをお願いいたします。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校